

当代の論客たちが日本外交論で火花

# アメリカ・イスラム・中国

## 新政権の日本外交を語る

9.11から5年——激動の国際情勢を多角的に分析

10月6日(金) 18時30分 於 日本プレスセンター 10F

テロから丸5年。

世界は中東でレバノン戦争、火種の消えないイラク、シリア、イラン、そしてまたも大規模な国際テロの発覚——と依然不安定な状況が続いている。一方アジアでは中国が急速に存在感を増し積極的な国際外交に打って出てきた。

そのような中、日本では9月20日にポスト小泉の新政権がスタートし、日本の外交立て直しが注目される。

日米同盟を基軸としながらも、今後日本はアジア、イスラム社会とどうつきあっていくのか。

いま日本でもっとも切れ味鋭い論客5人に集まって頂き、当面の問題だけでなく

中期(5~10年後)、長期(20~30年後)にわたる国際情勢の分析、

見通しと日本外交の行方、あるべき姿などに論を尽くしていただく予定だ。

先着250人なのでお早めにご予約下さい。

### パネリスト



**五百旗頭 真** (いおきべ まこと)  
防衛大学校 校長

1943年生まれ。京都大学法学部、同大学院卒。神戸大学法学研究科・国際協力研究科教授を経て現職。著書に「米国の日本占領政策——戦後日本の設計図(上・下)」「占領期——首相たちの新日本」「日米戦争と戦後日本」など。



**酒井 啓子** (さかい けいこ)  
東京外国語大学 大学院教授

東京大学教養学部を経て、ダラム大学で修士号を習得。アジア経済研究所地域研究センター参事を経て、2005年10月より現職。著書に「イラクとアメリカ」「イラク——戦争と占領」「イラクはどこへ行くのか」など。



**伊藤 芳明** (いとう よしあき)  
毎日新聞東京本社 編集局長

1974年東京大学文学部卒業後、毎日新聞に入社。大阪本社社会部、カイロ、ジュネーブ、ワシントン特派員、外信部長、大阪本社編集局長を経て現職。著書に「アラブ——戦争と生活」など。



**田中 均** (たなか ひとし)  
日本国際交流センターシニア・フェロー／  
東京大学公共政策大学院客員教授・前外務審議官

1947年生まれ。京都大学法学部卒業、外務省入省。1972年オックスフォード大学修士課程終了。北米第二課長、アジア太平洋局長、外務審議官を経て2005年退官後現職。著書に「国家と外交」「東大vs.」など。



**国分 良成** (こくぶん りょうせい)  
慶応義塾大学 東アジア研究所所長 同大法学部教授

1953年生まれ。慶応義塾大学法学部、同大大学院政治学専攻修士課程終了。著書に「現代中国の政治と官僚制」「中国政治と東アジア」「世界の中のアジア」「中国文化大革命再論」など多数。



**【司会】 嶋 信彦** (しま のぶひこ)  
ジャーナリスト/NPO日本ウズベキスタン協会 会長

1967年慶応義塾大学経済学部卒業後、毎日新聞者入社。経済部、ワシントン特派員を経てフリーに。現在TBSテレビ「朝ズバッ!」BS-i「榊原・嶋のグローバルナビ」などに出演。著書に「首脳外交」「一筆入魂」など多数。

# 参加申込書

NPO日本ウズベキスタン協会 御中

月 日

FAX NO. 03-3593-1406

## シンポジウム

当代の論客たちが日本外交論で火花

# アメリカ・イスラム・中国

新政権の日本外交を語る 9.11から5年——激動の国際情勢を多角的に分析

日時：10月6日(金) 18時30分より20時30分(開場18:00)

場所：日本プレスセンター 10F

【日比谷線・千代田線・丸ノ内線：霞ヶ関駅 C-4出口から徒歩3分】

【都営三田線：内幸町駅 A-7出口から徒歩3分】

参加費：一般2000円/会員・学生 1000円 先着250名

(主催) NPO日本ウズベキスタン協会

(後援) 毎日新聞社、KOBELCO(株式会社神戸製鋼所)、J-POWER(電源開発株式会社)



——秋の夕べに知的興奮のひと時を。

—NPO日本ウズベキスタン協会が贈る

恒例の国際シンポジウム 第8弾!

——お席に限りあり。お早めにお申し込みを!

お名前

当てはまる  に  印を

電話番号

FAX番号

メールアドレス

会員

非会員

学生

## NPO日本ウズベキスタン協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-1, ジェスペールビル 3階

TEL : 03-3593-1400

E-mail : jp-uzbeku@nifty.com

URL : <http://homepage2.nifty.com/silkroad-uzbek/>

